

## GeoAIの方法とまちづくり実践

日時:2025年12月12日15:30—17:45

企画:地理情報システム学会GeoAI分科会

会場:品川区東大井5-11-2 K-11/7階(→[URL](#))

費用:参加無料。先着40名。現地のみ→[事前申し込み](#)



ハンズオン GeoAI実用ツールへの案内(15:30-16:15)

モデレーター: 大場章弘

GeoAI分科会が独自に開発した対話型生成系AI、Mapboticaを用いて、LLMにジオプロンプトエンジリングを取り入れることによる運用方法と効果を体験します。

Mapbotica*1によるGeoAI実用ツールの実践	Mapboticaを使って、ブラウザで稼働可能な対話型生成AIを用いたGIS解析やWebGISおよび地図生成の実践を行います。	大場章弘 中央大学研究機構 機構助教
-----------------------------	---	--------------------



GeoAIは空間情報に優れるGISと知識処理に優れたAIを融合し、GISに新しいパラダイムをもたらします。この動きの中、GIS学会はGeoAI分科会を立ち上げ、国内外の学術動向と産業応用を調査してきました。またGeoAI分科会は大規模言語モデル(LLM)ベースのGeoAIツールを独自に開発し、まちづくりプロジェクトへの応用を試みました。本セミナーはご参加の皆様にこれらの活動成果を報告し、GeoAIの可能性を体験し、さらなる発展の方向性を議論します。

研究発表 GeoAIの技術とプロジェクト実装(16:15-17:45)

モデレーター: 嶽綱林

このたび、GeoAI分科会は「GIS-理論と応用」に主題特集を組み、12月に刊行される運びとなりました。本企画セッションは主題特集をハイライトし、学会参加者に疾走するAI時代のフロンティアであるGeoAIの最新情報を届けします。

GeoAIプロンプトエンジニアリングの理論と実践	大場 章弘	中央大学研究機構
時空間ビッグデータ処理とGeoAI	中山 俊	専修大学ネットワーク情報学部 慶應義塾大学政策・メディア研究科
3D都市情報のエンコーディングと視覚化	春日 裕信	慶應義塾大学環境情報学部
デジタルエリアデザインによる歩きたくなるまちへのアプローチ	金森 貴洋	株式会社パスコ研究開発センター
G空間情報から時空間知能への進化	嶽 綱林	慶應義塾大学教授、GeoAI分科会代表

\*1 MapboticaはGeoAI分科会大場章弘氏が開発しているGeoAIツール

\*2 ハンズオンは「デジタルエリアデザインin大井町」の実データを事例にします。本セミナーの前に13:00-15:00、街歩きワークショップを開催します。ご興味ある方はワークショップにも参加してください。